

# ころばん体操 出前講座 芹ヶ野公民館

平成28年8月4日(木) 9:00~11:00

参加者 計24名 (男性6名 女性18名)

## 【講話】

### I・「いつまでも自宅で暮らすために」…(在宅医療)

いちき串木野市包括支援センター 保健師久保小百合

日本人の死亡率は…人は必ず死くなる 100%の死亡率です。

どこで最期を迎えるか、どんな生活を続けながら最期を迎えるか一人一人がこれを機会に考えてみてください。2025年問題について…踏まえて高齢化社会となっていく。いちき串木野市はすでに65歳以上が30%を超えており、国は施設や病院を増やさない方向で進めています。地域で支え合って元気で自宅で過ごしていけることが大事です。市が行った地域のアンケートでも自宅で最期まで暮らしていきたい人が41%、考えたことがない人36.3% 病院の人は11%でした。やはり自宅で最期まで暮らしたい人が多くいます。



### II・「がんばりすぎない介護を応援します」 退院支援について

いちき串木野市医師会 在宅医療推進コーディネーター 南新 敦子

- 退院に向けて入院中から院内スタッフ、在宅関係スタッフが連携を取り在宅生活への準備を支援します。ご家族の介護負担がすこしでも軽くできるようにサポートしていく相談も受けています。介護度や高い患者さんや医療が必要な時でも、訪問看護等を利用しながら自宅生活を続けられるようサポートしていきます。

### IIIパンフレット:「がんばりすぎない介護を応援します」紹介 マイライフノートの紹介と説明

#### 参加者の声

- 会場全体の意見として…出来るだけ元気にすごしてポックリの亡くなりかたがいい。
- 家族に介護してほしいけど、簡単には言えないなあ～。
- 在宅介護にかかる経費について知りたい。
- 90歳台の女性からは、今後については十分理解しています。
- 介護について今のところ不安はないです。

地域の支え合いがあり、つながりが強い公民館！  
という印象でした。